

2026年10月11日（日）

聖霊降臨節第21主日

日本基督教団 大宮教会
大宮教会ビジョン
「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
(マタイによる福音書 28 : 19~20)

朝第1礼拝 9:00~10:10

朝第2礼拝 10:30~12:00

＜神の招き＞

前奏 ① 私はあなたを呼び求めます クレプス
② 主キリストよ、我らにみ顔向けたまえ バッハ

招きの詞 イザヤ書52:7~10

交読詩編 37:30~40

讃美歌 37

＜神の言葉＞

聖書 ハバクク書2:2~4
(旧約 聖書協会共同訳 1443 頁)
ヘブライ人への手紙10:26~39
(新約 聖書協会共同訳 404 頁)

祈 禱

讃美歌 57

説教 「信じて命を得る者」 熊江秀一牧師

祈 禱

黙 想

讃美歌 523

＜神への応答＞

使徒信条

献 金

主の祈り

宣教報告②

頌 栄 29

派遣と祝福

後奏 ① イエスはわが喜び バッハ
② イエスはわが喜び バッハ

宣教報告①

夕礼拝 18:00~19:10

＜神の招き＞

前奏 プレリュード ハ長調 シャイデマン

招きの詞 イザヤ書52:7~10

交読詩編 37:30~40

讃美歌 83

＜神の言葉＞

聖書 創世記19:23~28
(旧約 聖書協会共同訳 25 頁)
ルカによる福音書10:1~16
(新約 聖書協会共同訳 123 頁)

祈 禱

讃美歌 453

説教 「収穫のために」

佐藤潤伝道師

祈 禱

黙 想

讃美歌 406

＜神への応答＞

使徒信条

献 金

主の祈り

宣教報告

頌 栄 25

派遣と祝福

後奏 私の愛するイエス ツァッハウ

今週の御言葉

私の正しい者は信仰によって生きる。もしひるむようなことがあればその者は私の心に適わない。」しかし、私たちは、ひるんで滅びる者ではなく、信じて命を得る者なのです。
(ヘブライ人への手紙10:38~39)

次週の礼拝（10月18日） 合同礼拝

① 9:00

説教「神の栄光を見る」
熊江秀一牧師
エゼキエル書37:12~13、
ヨハネによる福音書11:38~44
交読詩編 117:1~2
讃美歌 18、55、358、29

② 10:30 教会学校と合同

説教「イエスさまは命の神さま」
熊江秀一牧師
エゼキエル書37:12~13、
ヨハネによる福音書11:38~44
交読詩編 117:1~2
讃美歌 205(2)、507(119)、
544(118)、24(25)

夕 18:00

説教「名が天に書き記されている」
佐藤潤伝道師
出エジプト記32:30~35、
ルカによる福音書10:17~24
交読詩編 117:1~2
讃美歌 14、321、579、25

■**今週の祈禱課題**■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 熊本・能登半島地震・東日本大震災と豪雨水害の被災者の為に
3. 教会学校との合同礼拝の為に
4. 牧師・伝道師の為に
5. 関東教区の為に
6. 世界にキリストの平和があるように
7. 病気の兄姉の為に

***関東教区お祈りカレンダー** 水海道教会 竜ヶ崎教会 勝田教会

◇先週の説教より「このたとえが分からないのか」 マルコによる福音書4章1節-20節 イザヤ書55章10節-11節 川島 一夫神学生

マルコによる福音書4章の「種を蒔く人」のたとえは、「よく聞きなさい」という言葉で始まり、「聞く耳のある者は聞きなさい」という言葉で結ばれます。このたとえの中心には、「御言葉を聞く」とはどういうことなのか、という問いがあります。

たとえを聞いた人々は、すぐにその意味を理解したわけではありません。しかし、主イエスの周りに留まった人々は、分からないままに尋ね、もう一度聞こうとしました。その人々に主イエスは、「あなたがたには神の国の秘儀が授けられている」と言われます。秘儀は人間が自分の力で獲得する知識ではなく、神から既に与えられたものでした。それでも弟子たちは、その後も主イエスの言葉を理解できず、何度もつまづきました。つまり、聞く者とは、すべてを理解できる人ではなく、分からなくても主イエスの周りに留まり、繰り返し御言葉を聞く者なのです。

私たちはこのたとえを、「自分は道端、石だらけの地、茨の中、良い土地のどれなのか」と人間を四種類に

分類する話として読みがちです。しかし、ここには種を蒔く方がおられるのです。主イエスご自身が御言葉という種を蒔き、人々を「聞く者」へと招いておられるのです。

イザヤ書55章は、神の口から出る言葉は空しく神のもとに戻らず、神の望むことを成し遂げると語ります。御言葉を実らせるのは、私たちの力ではありません。神の言葉が蒔かれ、人が聞く者とされ、三十倍、六十倍、百倍の実を結んでいく。そこに、目には小さく見えても確かに働き、広がっていく神の国の姿があります。

御言葉を何度も聞き損ない、つまづきながら、それでもキリストから御言葉を蒔かれ続けている私たちも、今度は教会として、その御言葉を携えて世へ遣わされています。「聞く耳のある者は聞きなさい。」今日も私たちは、この御言葉によって聞く者へと招かれているのです。

*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈禱当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、夕は夕礼拝。